

ワカバノミドリ

w a k a b a n o m i d o r i



18禁
ADULT
ONLY



ワカバナミドリ

w a k a b a n o m i d o r i .

ケムリクサァ！（挨拶）
お久しぶりでございます。無道叡智です。
今回はケムリクサ本！
りつねえのお姉さんっぷりに
りんちゃんのツンデしっぷり、
二人の良さをたくさん詰め込みました。
楽しんで頂けたら幸いです！
それではごゆっくりご堪能下さい！



ワカバノミドリ

wakabanomidori

りんさん

りん
さーん!

なんだ水を
見つけたか?

新しいケムリクサを
見つけましたよー!

また
ケムリクサか…

見てくださいよコレ!
見たことない色ですよ!

それになんか…
美味しそうな匂いが
するんですよえ…

混ぜても
知らないぞ…!

うん…!
おいしい!

甘酸っぱくて
美味しいですよ!

うん…
んツ?

んんツ?

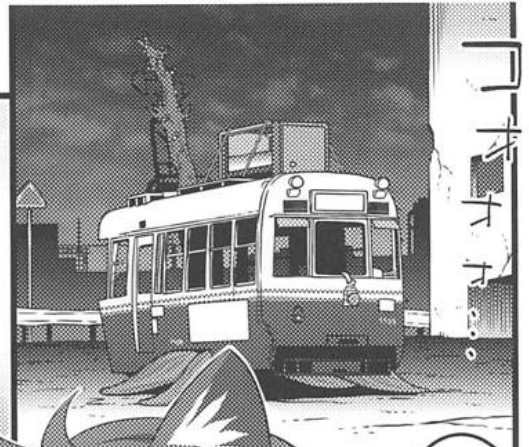
お…オイ!
どうした!

あ…ああ…
ああ…!

おい…
お前ツ

あ…あ…

おいッ!







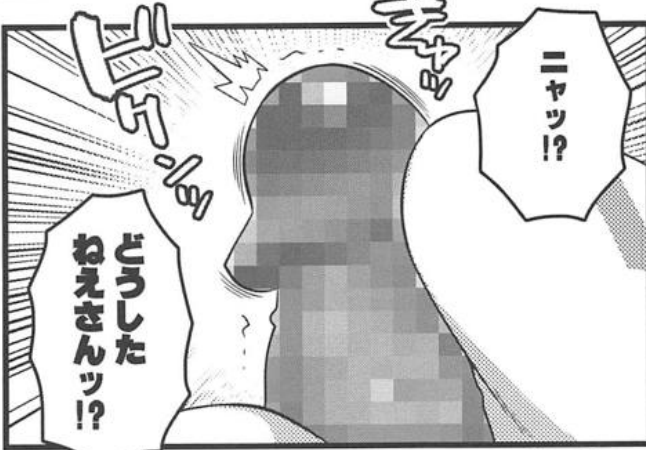


確かに…
悪くない…!

ズル…

さあ…気を
取り直して…

動かせるか
どうか音を
聞いてみるニヤ



どうした
ねえさんツ!?

ニヤツ!?



大丈夫か
おいッ!

ウツ

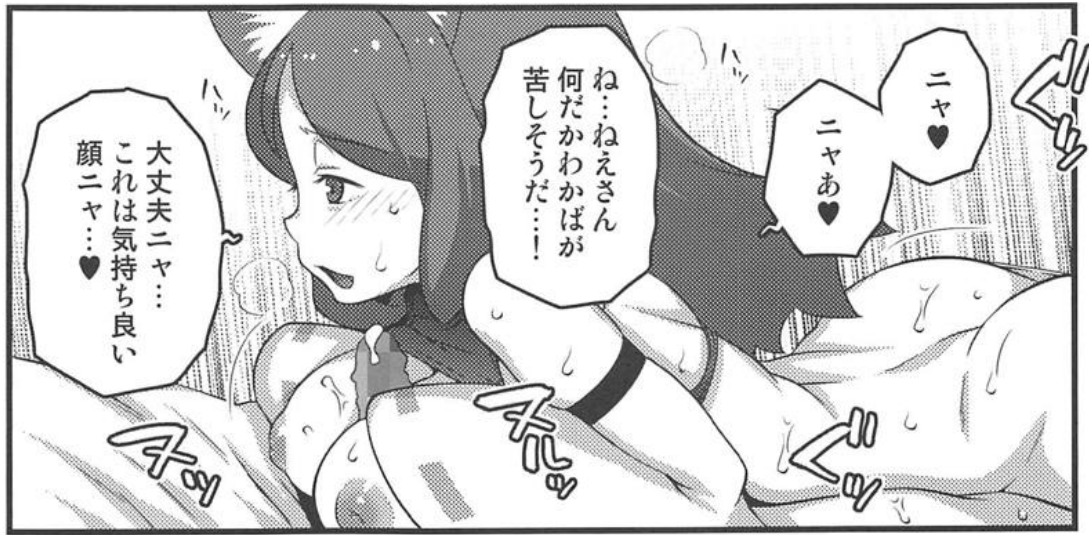


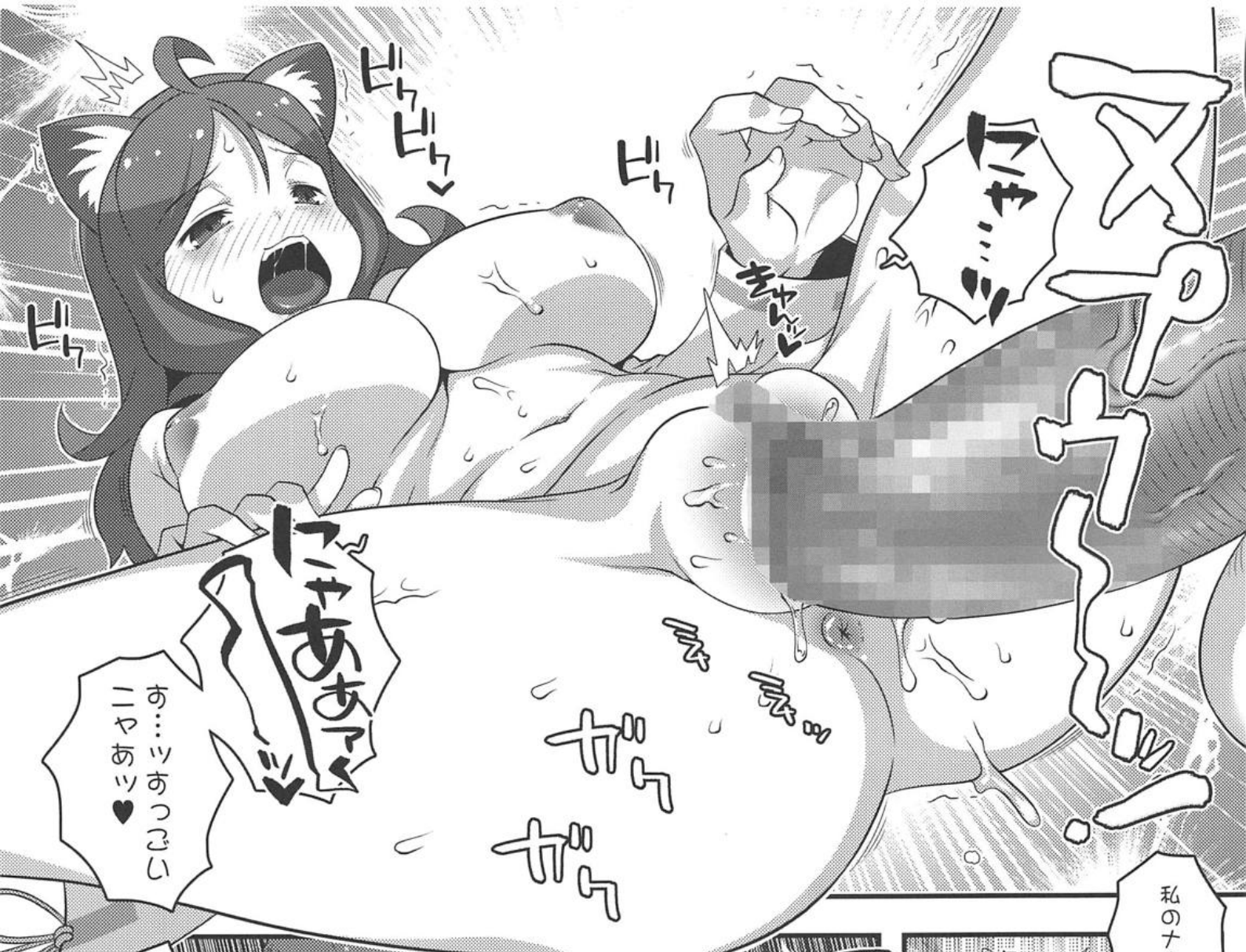
めっさ
動いたニヤ!

なにッ
本当か?

先っほを
触ったら
びくんッて!









あッ♡
あアッ♡

♡ミヤ||
♡ミヤ||

ちかちか
あつあつ
♡ミヤ||

♡ミヤ||
♡ミヤ||

♡ミヤ||
♡ミヤ||



♡ミヤ||
♡ミヤ||

♡ミヤ||
♡ミヤ||

♡ミヤ||
♡ミヤ||

♡ミヤ||
♡ミヤ||



めっさ
いかがわしい
雰囲気ッ!?

ひいッ!?

ドオオオオ!

ん...なんか...
めっさ...

ぬくくて
気持ち良い...

ホヤ

えっ...
りん...さん?

...良かった!

ドキッ

ドキッ

もしかして
ムシの仕業...

目が...
覚めたか...

りんさん!
これは一体...?

はあはあ

お二人とも...
ありがとうございます...
ございます!

でも...

...全然覚えて
ないんですが...
またご迷惑をお掛け
しましたみたいで...

また...
助けられちゃい
ましたね...

そうだぞ...
ねえさんに
感謝しろ...っ

もっ...このまま
目覚めないんじゃ
ないかと思っただぞ...!

ケムリクサを食べて
おかしくなった
お前のちんこを
ねえさんが全力で
収めてくれたんだ...!

なんだ...?



りんさんがお胸を
押し付けるから…

僕…また
こんな感じに
ですね…はい…

はあッ!?

どま
くしん!

ゴッ
ゴッ

おッ…
お前…ッ



私の股ぐらに
突っ込みたい
だけだろウッ?

違います!

いや…それも
あるんですが…

そう言う事じゃ
ないんです!

落ち着くニヤ
二人とも



わかばくんは
どうせするなら
りんとしたいんだニヤ

りんだって
そうなんじゃ
ないかニヤ?

そうです…僕が
りんさんのしたい事の
お手伝いが出来れば…!

どうですか?
りんさん…ッ!

……やれよ

はいッ!

めかた!

りんさん…
どうして欲しい
ですか…？

まだがー！
早くゴロー！

はいッ！

いやいや…今は
りんさんが
して欲しい事に
集中しないと…！

む…む…っ
胸を…こねろッ

橙さんに
書いてあった事を
思い出して…

ん…っ

めくれた…ッ！

あ…ッ！

む…胸？
ですか…？

あれ…？
心なしかいつもより
ケムリクサが
光っている様な…

もしかして…
りんさんの気持ちと
連動している…？

そして…
両手でこねろッ！

あア…ッ♡

うわぁ！
めっさ乗ら
か…ッ！



うわぁっ...めっせめくくて気持ち悪い...ッ！

身体の中かに...入って...るう...ッ♡

あぁあぁあぁ

アッ アッ アッ

アッ アッ アッ



りんさんッ！

!?



だが...不思議だ...悪くない...♡

りんさん...



苦しく...ないですか？

少し...キツイ...ッ



さあ続ける！

はいッ！



...謝るな

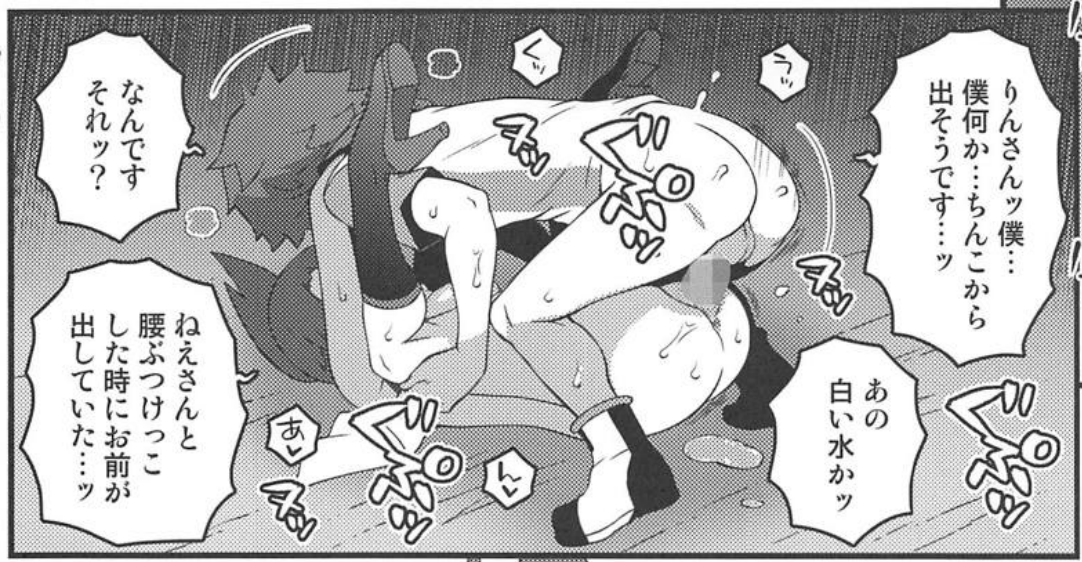
私はお前と...こうして買えて嬉しいき...♡

気持ちを抑えられなくて...

りんさん...!



ごめんなさい...なんか...僕



りんさんッ僕…
僕何か…ちんこから
出そうです…ッ

あの
白い水カッ

なんです
それ??

ねえさんと
腰ぶつけっこ
した時間にお前が
出していた…ッ



あッッ♡



腹の奥に出されると
めっさ満たされた
気持ちになるらしいッ

いいぞッ♡

私のナカにも
白い水を出して
くれッ♡

良いんですお
りんさんッ?

ナカに
出しますョッ♡



イキます
イキますよッ

あ…

いいぞ
出せッ♡



出せッ♡

ナカにいっぱい
出せえッ♡



う…

あ…ッ



ミドリを使えば
良いだろ…♡

ん…
んぐ…♡

僕もう出しすぎて
ちんこがめっさ
痛いんですけど…

そう言う
問題では…

んぐ
ちゃっ

ちゃっ

ちゃっ

ちゃっ

ちゃっ

んぐ

ちゃっ

ちゃっ



ナオオオオオ

ただいま
ナーッ♪

リナちゃんズ!!



りんもすっかり
ちんこちゃんか
好きみたいニヤ

そんな事は
断じてない!
しっ白い水が
勿体無い
だけだッ!



りんさん…
ご姉妹には
甘い…

ねえさんが
そう言うなら…

ええッ!?

じゃあ皆で
わかばくと
ヤツちやう
ニヤッ♡

うわあいッ♪

って言ってる
場合じゃないッ!

うん…

はい…



いや…コレは
そう言う事じゃ
なくてですね…

ねえねえまだけ
スルいのナー!

あーッ!
わかばを
食べてるのナー!

は

は〜…これが全部りな達のナカに入っちゃうのナ？





お尻でイッチャう
なんてりりは
わるい子だなあ

あぁ...♡

りり...
わるい子だから
いっばいお仕置き
して...ワカバ...♡

■奥付■

発行日 / 2019年8月12日
 代表者 / 無道叡智
 (http://mco-h.com)
 連絡先 / info@mco-h.com
 印刷所 / サンライズ
 表紙デザイン協力 / Qamakiri
 ©本書を無断で複写、アップロードを禁じます。



ワカバノミドリ

w a k a b a n o m i d o r i .

